

## ピタバスタチン Ca 錠 1mg 「DK」 の 安定性に関する資料

### 【はじめに】

ピタバスタチンカルシウム水和物製剤であるピタバスタチン Ca 錠 1mg 「DK」 の市販後の安定性を、加速試験により確認した。

### 【試験内容】

試験製剤	紙箱入りのアルミパックした PTP 包装 (3 ロット)
保存条件	温度：40±1℃、湿度：75±5%RH
保存期間	開始時、1、3 及び 6 ヶ月 <sup>注1)</sup>
試験項目	性状、確認試験、溶出試験、定量試験

注 1) 確認試験は開始時及び 6 ヶ月

### 【試験結果】

試験結果を別紙に示した。

### 【結論】

ピタバスタチン Ca 錠 1mg 「DK」 の市販後の安定性を検討するため、加速試験 (40±1℃、75±5%RH、保存期間 6 ヶ月) を行った結果、全ての試験項目について規格内であった。従って、通常の市場流通下において 3 年間安定であることが推測された。

別紙

【試験結果】

試験項目 \ 保存期間	開始時	1 ヶ月	3 ヶ月	6 ヶ月
性状	適合	適合	適合	適合
確認試験 (1)	適合	—	—	適合
確認試験 (2)	適合	—	—	適合
溶出試験 (%) <sup>注2)</sup>	95.5~102.5	97.9~103.2	95.5~102.7	97.4~104.3
定量試験 (%) <sup>注3)</sup>	98.8~100.9	99.0~100.8	98.3~100.7	99.5~101.2

注2) 3ロット各3回測定 (1回6ベッセル) の最小値~最大値

注3) 3ロット各3回測定の最小値~最大値

規格 (承認時)

性状	白色、円形のフィルムコーティング錠である
確認試験 (1)	紫外可視吸光度測定法： 波長 242~246nm に吸収の極大を示す
確認試験 (2)	薄層クロマトグラフィー： 試料溶液から得た主スポットは標準溶液から得たスポットと Rf 値が等しい
溶出試験	15 分間の溶出率：85%以上
定量試験	含有率：95.0~105.0%